

臨床研究検査部

診 療

臨床研究検査部の理念は「検査データを正確かつ迅速に提供し、患者さんに満足していただける診療支援を実現します」であり、臨床検査技師 11 名で血液検査、生化学検査、免疫検査、一般検査、生理機能検査、輸血検査、病理細胞診検査、細菌検査を実施している。

2006 年度からはがんセンター化に伴い、乳腺超音波検査を開始し、病理部門はがんセンター中央病院とハイビジョン遠隔診断システムで結び、中央病院との一体化により診断精度の向上と迅速化を行った。

2007 年度からは厚生労働省主催の「院内感染対策サーベランス」事業に参加し、院内感染情報の分析を強化して各種感染情報の発信を行っている。

2008 年度は臨床検査マニュアルを全面改訂し、安全な検査体制の向上を図った。総検査件数は 681,135 件でやや減少傾向にあるが、がん診療に関わる検査項目は増加傾向にあり、前年度と比較して病理細胞診検査は 6.2%、生理機能は乳腺超音波検査を主として 8.3% 増加した。検査項目では癌遺伝子検査や薬物反応関連遺伝子多型検査の依頼が増えている。

外来検体検査の約 90% が診察前至急検査であり、血液検査、生化学検査、腫瘍マーカー検査でも 90 分以内の報告を行っている。また、外注検査の院内至急検査化などにより患者サービスの向上に努めている。

検査精度は検査の生命線であり、日々の内部精度管理のほか外部精度管理事業に参加して精度の向上に努め、良好な成績を得ている。また、学会や研修会などに参加して知識や技術の向上により、新たな検査ニーズに対応できる検査室となるように取り組んでいる。

抱 負

安全・安心な医療は病院の使命であり、臨床研究検査部はこれからも病院の基本理念に基づき、正確な検査データを迅速に提供して、診療や治療計画に沿った支援を充実します

